#### 農林水産省九州農政局

# 大分県拠点だより



令和5年9月発行 【NO.28】

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。 大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

# # 大分☆農・カーボンプロジェクト 第8回勉強会を開催しました!

令和5年9月5日(火) 大分県拠点第1会議室





会場参加の皆さん、活発で有意義なお話を ありがとうございました。このほかオンラ イン参加の皆さんもお疲れさまでした。

勉強会はまず、九州農政局土橋次長から「みどりの食料システム戦略」に関する基調講演、(同)ビジョナリープロジェクト代表林勇士氏(中津市)と、Farm Sam代表高松修氏(日出町)から、それぞれの取組発表をいただきました。その後、2班に分かれて、「みんなで話そう!環境に優しい農業のこと、私に何ができるかな」をテーマにグループ交流を行いました。参加された女性農業者には、終始話と笑いの絶えない明るい雰囲気の中、「みどり戦略は意外と身近なことだったと気づいた」「女性農業者同士の交流ができてよかった」等、有意義な会であったと感じていただいたようでした。

勉強会当日の資料や 概要はこちらから ↓





(同) ビジョナ リープロジェクト 代表 林 勇士氏 規格外の野菜や果 物を使ったピクル スの製造・販売の 取組発表をいただ きました。



Farm Sam代表 高松 修氏 竹や木材チップ、 廃菌床を活用し た炭素循環型農 業の取組発表を いただきました。



土橋 信昭 九州農政局次長 国民は理解しない。 と納得しないけない えないといけない 壁を超えるための 準備を国がする。 と考えている。

# # 令和6年度農林水産関係予算概算要求額は2兆7,209億円

農林水産省は8月31日、総額2兆7,209億円(対前年度当初予算比120%)の令和6年度農林水産関係予算概算要求を財務省に提出しました。

「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を踏まえ、食料安全保障の強化、環境対応、人口減少への対応の3本柱を中心に、新しい資本主義の下、若者や意欲ある農林水産業者が夢を持って農林水産業に取り組めるような環境整備、元気で豊かな農山漁村の次世代への継承等を実現するための予算要求となっています。



「R6年度農林水産予算 概算要求」については ↓

農業関係の主なものは、以下のとおりです。

- ○食料の安定供給の確保に向けた構造転換 ○農業の持続的な発展
- 〇農村の振興 〇みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化
- ○多面的機能の発揮



# # 農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との 意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

#### 小象も大興奮!フレッシュさとうきび



アジアゾウが大好物なさとうきびが 今年も初収穫を迎え、アフリカンサ ファリに届けてきました。さとうき びを載せた軽トラを見るなり、小走 りに駆け寄ってくる象たちの様子に キュンキュンしつつ、はいどーぞ。 長い鼻を上手に使って、勢いよくむ しゃむしゃ食べてくれました。微笑 ましい光景にギャラリーの顔もほこ ろびっぱなしでした。

#### 別府・日出さとうきび研究会 (別府市、宇佐市) 令和5年8月29日



#### レンコン王子、ようこそ地球へ



#### タナカレンコン (日出町) 令和5年8月3日

杵築市、日出町でレンコンを生産・販売しています。自然栽培で育てたレンコンは、甘みがありシャキシャキとした食感と濃い味わいが特徴です。作業はすべて手作業でハードですが、おいしいレンコンをつくるためにこだわっています。この度、イベントやSNS発信を担当する「レンコン王子」が誕生しました。コロナ禍で元気のなかった飲食店や農家、地域と一緒に乗り越えていく起爆剤として活動しますので、応援よろしくお願いします。

### 誰もが必要とされる喜びを感じて欲しい



日田市の障害を持った方々の働き方を支援する会社です。野菜や米等の生産・販売もしています。 昨年は地元の酒造会社に協力いただき、初めて酒米を栽培、酒造りにも挑戦し、完成した日本酒「夢かなえ」400本は完売しました。農福連携の取組で障害者の就労場所確保と収入向上を目指すとともに、田んぼも耕作放棄から守り、地域を含めみんなが喜ぶ未来を夢見ています。

#### (株) シンシアリー (日田市) 令和5年7月28日



## 「農業」×「フリーアナウンサー」

臼杵市でカボス、国東市でみかんを栽培し、フリーアナウンサーとの半農半Xを実践中です。ロ下手な生産者さんの代弁者となり、農業の現状を伝えたいと2年前に就農しました。農業は時間の自由がきくため、子育て世代や扶養の範囲内で働く女性が就農することをお勧めします。また自然の中で心身共に癒され、地域の活性化や高齢化による担い手不足解消の効果も期待できます。実体験に基づく「発信」で大分の農業をどんどん盛り上げていきたいです。

工藤桂子(豊後大野市) 令和5年7月18日



大分県拠点HPではこの他の意見交換の様子もご覧いただけます。







【発行元】九州農政局大分県拠点地方参事官室 【連絡先】〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131